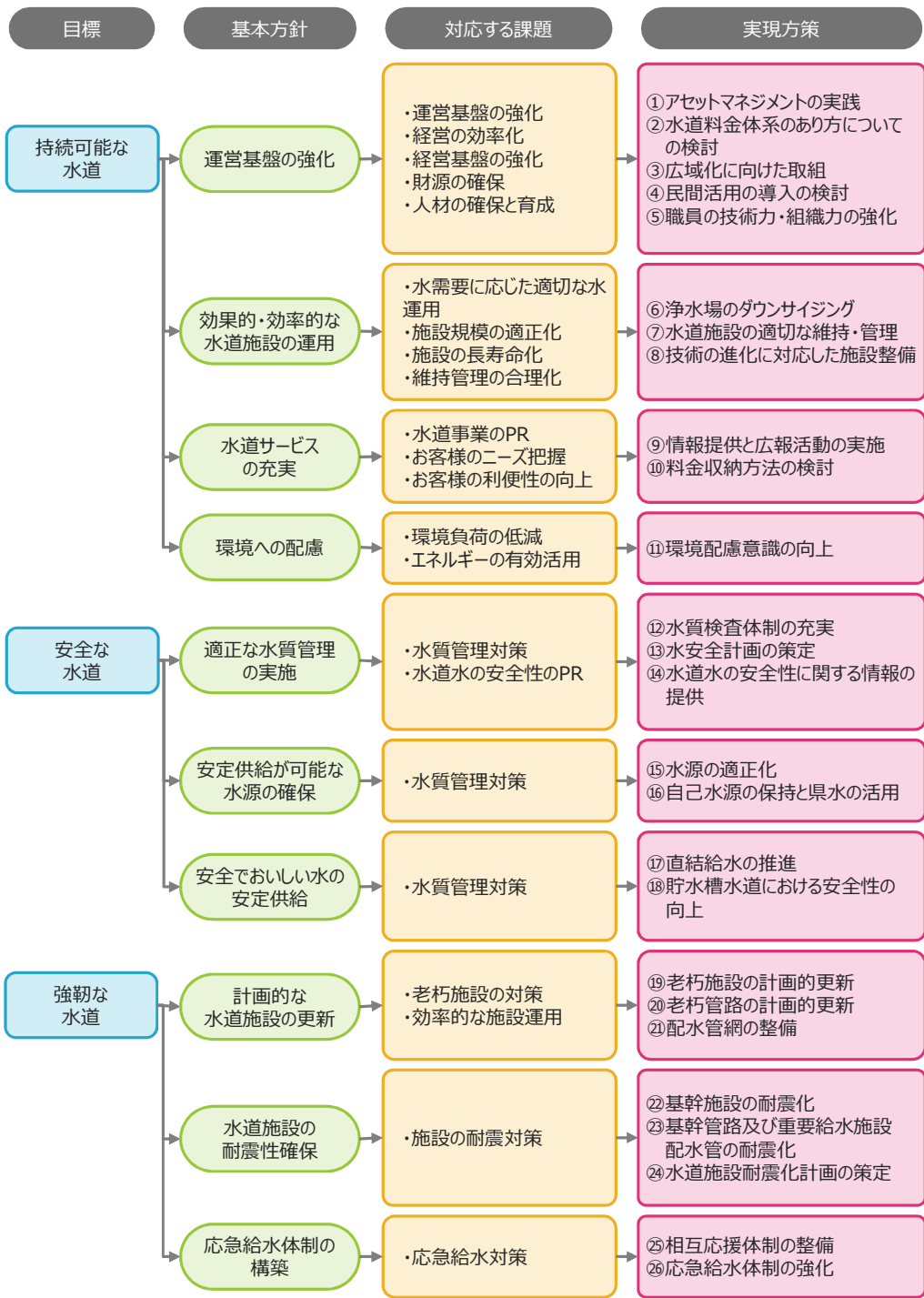


現行の水道ビジョンにおける実現方策と評価結果一覧



① アセットマネジメントの実践	アセットマネジメントの継続的な実践により健全な水道を次世代へ確実に引き継ぎます。	達成	継続
② 水道料金体系のあり方についての検討	現在の水道料金体系の抱える課題を整理し、水道料金体系のあり方について検討します。	達成	継続
③ 広域化に向けた取組	埼玉県第1ブロック水道広域化実施検討会において協議を行い、県が目標とする令和12年度までの実現に向けて連携を図ります。	未達成	継続
④ 民間活用の導入の検討	経営のさらなる合理化を図るため、包括的外部委託の対象とする業務や範囲について検討します。	達成	継続
⑤ 職員の技術力・組織力の強化	事業運営に必要な技術を日常業務や研修・訓練をとおして継承し、職員の技術力を向上させ組織全体の強化を図ります。	達成	継続
⑥ 浄水場のダウンサイジング	次世代の負担とならないよう、老朽化した第1浄水場を廃止します。なお、県水の水源となるハツ場ダムの竣工後に第1浄水場を廃止することで、濁水に対する危機管理能力を強化します。	達成	継続
⑦ 水道施設の適切な維持・管理	水道施設の日常点検を通じて、実態を把握し、修繕等の履歴をデータベースとして整理することで効率的な維持管理を継続的に実施します。	達成	継続
⑧ 技術の進化に対応した施設整備	管路を更新する際は、長寿命が期待できる管種を採用します。	達成	継続
⑨ 情報提供と広報活動の実施	ホームページの充実を図り、お客様に必要な情報を提供します。	達成	継続
	お客様のニーズを把握するため、「町長への手紙」を通じてお客様のご意見をとりいれます。	達成	継続
	お客様のニーズにあった情報提供や広報活動に取り組みます。	達成	継続
	水道事業の運営方針について、情報を開示し、お客様の理解促進に努めます。	達成	継続
⑩ 料金収納方法の検討	お客様の利便性向上のため、料金収納方法の多様化について検討します。	達成	継続
⑪ 環境配慮意識の向上	公共工事における環境負荷の低減として、再生資材の活用や環境にやさしい物品の購入（グリーン購入）を引き続きおこないます。	達成	継続
	温室効果ガス削減のため、水道施設の更新時には太陽光発電装置などのグリーンエネルギー導入の検討をおこないます。	未達成	継続
	公用車へのエコカーの導入を図っていきます。	未達成	継続
⑫ 水質検査体制の充実	本町の水源水質に対応し、浄水処理を確実なものとするため、必要に応じて水質検査計画に新たな検査項目を追加します。	達成	継続
⑬ 水安全計画の策定		達成	継続
⑭ 水道水の安全性に関する情報の提供	お客様に水道水の安全性を理解していただくため水道水の安全性に関する情報をホームページや広報誌を通じて発信します。	達成	継続
⑮ 水源の適正化	県水受水へと水源の移行を進めることで、地下水の汲み上げによる地盤沈下の抑制を図ります。	達成	継続
⑯ 自己水源の保持と県水の活用	第2浄水場の水源である3箇所の井戸について、適切な維持管理をおこない安定供給を図ります。	達成	継続
	県水が地震や濁水に対して安定供給できるよう県営水道に要望します。	達成	継続
⑰ 直結給水の推進	直結給水に対応可能な給水圧力を確保するため、きめ細かな圧力制御をおこなっていきます。	達成	継続
⑱ 貯水槽水道における安全性の向上	引き続き、貯水槽水道の設置者へ年に一度の清掃・点検を呼びかけます。	達成	継続
⑲ 老朽施設の計画的更新	水道施設については、実使用年限に基づいて適時更新をおこないます。	達成	継続
⑳ 老朽管路の計画的更新	老朽配水管路は、土地区画整理事業や道路整備事業、また公共下水道工事などの事業とも調整をおこないながら、合理的かつ計画的に更新をおこないます。	達成	継続
㉑ 配水管網の整備	第2浄水場と宮東配水場を中心とした水運用に対応するため、東武鉄道の横断に係る配水管布設工事を行い、安定した水運用に努めます。	達成	継続
㉒ 基幹施設の耐震化	耐震化の必要な施設を抽出するため、耐震診断を実施し、耐震化が必要な基幹施設の優先順位を設定します。	達成	継続
㉓ 基幹管路及び重要給水施設配管の耐震化	基幹管路及び重要給水施設を定め、基幹管路・重要給水施設配水管の耐震性を確保します。	達成	継続
㉔ 水道施設耐震化計画の策定	老朽化対策とあわせて、効果的な更新・耐震化ができるよう「水道施設耐震化計画」を策定します。	達成	継続
㉕ 相互応援体制の整備	非常時の相互応援体制の維持・整備のため、近隣事業者との連絡管について検討するとともに、地域防災計画など関連事業との調整をおこないます。	一部達成	継続
㉖ 応急給水体制の強化	断水した場合でも速やかに応急給水ができるよう耐震型緊急用貯水槽の維持管理に努めます。	達成	継続
	現在、応急給水に備えて配布用500mLペットボトル水を1,000本、6L給水袋を600枚保有しています。将来的には、給水袋1,000枚保有できるよう購入を進めます。	一部達成	継続
	また、運搬給水のため、現在は給水タンクのみ保有していますが、近隣団体の給水車保有状況を調査し、購入の検討をおこないます。	達成	継続
	このほか、応急給水マニュアルや器具の整備、受け入れ体制の強化に取り組みます。	達成	継続